

公益財団法人フィットネス 21 事業団 平成 28 年度 事業報告

平成 28 年度も「障がい者のスポーツ支援」「スポーツ、健康運動教室等の開催」「スポーツの普及振興」の各事業に、多くの参加をいただき、地域住民の健康づくり・体力づくりに寄与することができました。

主力事業である『障がい者のスポーツ支援』について、新たに大阪市立中央屋内プールでも「知的障がい児 親子水泳教室」を開催するなど、「大阪府立障がい者交流促進センター」「堺市立健康福祉プラザ」を中心に数多くの事業を実施することができました。

とりわけ、元バルセロナ・アトランタオリンピック水泳代表の千葉すず氏を迎えて、法人創立 30 周年記念事業のイベントとして開催した「千葉すずさんと泳ごう！」では、障がい者と健常者が交流する水泳クリニックを大阪市立中央屋内プールほか 9 施設で展開し、大変盛況に終了しました。

法人事業の根幹をなす体育・スポーツ施設の管理運営では、大阪市立屋内プールとスポーツセンター（4 グループ 11 施設）及び豊中市立体育館（4 施設）で新たな指定期間（大阪市は指定期間 3 年、豊中市は 5 年間）がスタートし、多くの地域の方々に利用していただきました。

ただ、全ての施設で、高齢者の利用が増加し、一層安全面への配慮が求められる状況となっており、それに伴う人件費増、また施設の老朽化による修繕費増など多くの課題を抱えています。

関係各自治体にも協力を求めながら「安全・安心」な施設運営に努力しているところです。

また、最も長く管理運営の実績を誇る施設である「大阪府立障がい者交流促進センター」が、平成 29 年度末に指定期間満了となるため、平成 30 年度以降の新たな公募が行われる時期を迎えており、継続して指定管理者に選定されるよう現在準備を進めているところです。

その他、大阪近隣府県各自治体の動向に注視しつつ、新たな事業展開への参入機会を模索してきたところです。

[I] 公益目的事業

スポーツを通じて人びとの健康増進や体力づくりに寄与するため次の事業を実施しました。

1. 障がい者のスポーツ支援事業

障がい者を有する方々に、体育・スポーツが果たす健康増進やリハビリテーション、自己啓発、コミュニケーション等の役割を通して、障がいの内容、運動能力や体力の違いなどに応じたスポーツ教室等を開催するとともに、誰もが気軽に体育・スポーツ

活動に親しむ機会を提供し、もって障がい者・健常者の共生社会の形成の推進に寄与する事業です。

(1) スポーツ教室等の開催

平成 28 年度から新たに大阪市立中央屋内プールでも「知的障がい児親子水泳教室」を開催し、大阪府立障がい者交流促進センター等を含む 10 施設において、障がい者を対象とした教室・プログラムを開催し、延べ 77,405 名の参加がありました。

(2) 競技力向上練習会等の開催

各種スポーツ大会等へ参加を目指すアスリートの養成及びサポートスタッフを養成するための強化練習会や選手育成練習会等を開催し、延べ 19,878 名の参加がありました。

(3) スポーツ大会への指導者派遣

第 16 回全国障害者スポーツ大会、大阪府障がい者スポーツ大会、堺市障害者スポーツ大会をはじめ、地方公共団体等が開催する障がい者のスポーツ大会等に障害者スポーツ指導員の資格を有する指導者を延べ 183 名派遣しました。

(4) スポーツ大会・記録会等の開催

障がい者を対象とした陸上競技記録会等の各種スポーツ大会、練習会やイベントを開催し、計 2,044 名の参加がありました。

(5) 参加者交流イベント等の開催

「千葉すずさんと泳ごう！」など障がい者の社会参加、障がい者と健常者の交流促進を目的としたイベントや交流会を開催し、延べ 12,761 名の参加がありました。

(6) 指導者・ボランティア養成講習会等の開催

障がい者スポーツを支える人的能力（マンパワー）を養成するため、初級・中級障害者スポーツ指導員養成講習会を開催し、延べ 219 名が受講しました。

(7) 講習会への指導者派遣

自治体等が開催する障がい者スポーツ関連の講習会等に上級・中級障害者スポーツ指導員の資格を有する指導者を延べ 230 名派遣しました。

(8) 講習会・相談会等の開催

障がい者を有する方々がより安全かつ適切にトレーニングするための講習会やスポーツ相談会等を開催し、延べ 952 名の参加がありました。

(9) 障がい者施設への指導員派遣

大阪府立障がい者交流促進センター、堺市立健康福祉プラザに指導員を 25 名派遣し、障がい者へのスポーツ指導、大会・イベントの開催、施設管理等を実施しました。

2. スポーツ、健康運動教室等事業

体育・スポーツが果たす健康やリハビリテーション、自己啓発、コミュニケーション等への役割を広め、ひろく地域住民を対象に年代や性別、障がいの有無、運動能力や体力の違いなどに応じたスポーツ、健康運動教室等の開催とトレーニング指導を行うとともに、誰でもが気軽に体育・スポーツ活動に親しむ機会を提供して、地域住民の健康増進・体力づくり等を支援する事業です。

(1) 高齢者を対象とするスポーツ教室等

高齢者の誰もが気軽に体育・スポーツ活動に親しむためのスポーツ教室等を13施設で開催し、延べ60,359名の参加がありました。

(2) 青少年・成人を対象とするスポーツ教室等

生涯を通じて健康でいきいきとした人生をおくるために、誰でも気軽に体育・スポーツ活動に親しみ、健康づくり・体力づくりに励めるよう各種スポーツ教室・プログラムを12施設で開催し、延べ388,537名の参加がありました。

(3) 競技力向上・参加者交流のためのスポーツイベント

地域の児童・生徒を対象の水泳記録会や卓球愛好家を対象にした卓球交流会等を開催し、延べ3,411名の参加がありました。

(4) 健康づくり講習会

一般人やスポーツ愛好家を対象にスポーツ活動中に発生する事故等に対する予防講習会等を開催し、延べ937名の参加がありました。

(5) トレーニングの指導

管理者として指定を受けた体育・スポーツ施設及び受託施設において、トレーニング機器を利用して体力づくりに励む利用者を対象に専門の指導員を配し、利用者ごとの運動カルテを作成して、体力に応じた技術指導や助言、相談に応じました。

(6) 体育・スポーツ施設等の貸与

地域住民の誰もが生涯を通じて気軽に体育・スポーツ活動に親しみ、もって健康増進・体力づくりに取り組めるよう、設置市町から指定管理者の指定を受けた大阪市立西淀川屋内プールほか14施設において、施設の利用促進と管理運営を行いました。

3. スポーツの普及振興事業

体育・スポーツ活動が健康に果たす役割を府民に広め、ひろく地域住民を対象に青少年の健全育成、障がい者、高齢者の福祉の増進に寄与する事業です。

(1) 講習会等への講師等派遣事業

公共的団体等の主催者から要請を受けた講習会に専門講師を延べ 222 名派遣しました。

(2) スポーツ団体等への助成事業

体育・スポーツの普及振興を図るため、それぞれの申請に基づき、8 団体 総額 116 万円の助成金を交付しました。

(3) 創立 30 周年記念事業

昭和 61 年に大阪府教育委員会の認可を受けて設立し、昨年 3 月に創立 30 周年を迎えました。

平成 28 年度はその記念事業を継続する年となり、元バルセロナ・アトランタオリンピック水泳代表の千葉すず氏を迎えての「千葉すずさんと泳ごう！」（大阪市立中央屋内プールほか 9 施設）、「デフバスケットボール体験会」（大阪市立淀川スポーツセンター）、「早稲田摂陵高等学校ウィンドバンドによるマーチング演奏会とスポーツ体験会」（熊取町立総合体育館）など、子どもから大人、高齢者及び障がい者まで、地域の方々に気軽に参加していただける記念事業を開催し、延べ 3,234 名の参加がありました。

[Ⅱ] 収益事業

公益目的事業に寄与する事業として、次の収益事業を行いました。

1. 利用者の福利厚生事業

指定管理者として管理運営する公の施設において、利用者の利便向上を図るため、飲料水等の自動販売機設置や屋内プール施設でゴーグル・スイミングキャップ等の販売のほか、レンタルロッカーの貸し出し、高槻市立市民プール、熊取町立総合体育館で軽食コーナーの設置等を行い、収益を図りました。

そのほか、有料駐車場を併設する大阪市立住之江屋内プール、東淀川屋内プール及び東淀川体育館において、駐車場の管理及び料金徴収を行いました。

2. 施設管理・指導業務等

(1) トレーニング指導

- ① 豊中市立屋内体育施設（千里体育館、豊島体育館、庄内体育館、高川スポーツルーム）において、共同指定管理者として、施設利用者に対し、健康・体づくりのためのトレーニング指導を行いました。
- ② 公益財団法人高槻市みどりとスポーツ振興事業団から委託を受け、高槻市立総合スポーツセンターと同古曽部防災公園体育館内トレーニング室で体づくり教室の運営及びトレーニング室での指導運営を行いました。

(2) 併設施設の管理運営

大阪市から委託を受け、大阪市立住之江屋内プールに併設する「さざんか会館」の貸館、料金徴収と施設・設備の保守等の業務を行いました。